

■武蔵野市障害者福祉センターあり方検討委員会報告書 中間のまとめ パブリックコメントの検討委員会取扱方針

1 パブリックコメント実施概要

(1) 募集期間

令和3(2021)年9月16日(木曜日)から同月30日(木曜日)まで

(2) 広報

市報(令和3(2021)年9月15日号)、ホームページに掲載、障害者福祉課、市政センター、図書館で配布、各コミュニティーセンターで閲覧

(3) 提出者数 4名

(4) 意見件数 14件

2 ご意見と取扱い方針

NO	項目	意見	検討委員会取扱方針
1	機能・設備	<p>特に成人の(卒後も含む)デイサービス後や休日の居場所として。なごみのタイムステイはとても使い勝手が良く、多くの方々を利用(日数制限もある)していて、なかなか予約を取るのが難しい現状があります。</p> <p>成人の通所後は自宅にいるか、気候にかかわらず移動支援を使って外に出る。あるいは、日中一時支援を利用することはできますが、事業所の数が少なくなかなか利用できません。</p> <p>就学児のように放課後等デイサービスがないので、本人は時間を持って余し、家族も時間のやりくりが大変です。中途障害者も利用しやすい成人障害者のためのタイムステイ(居場所)ができる機能を持たせていただきたい。</p>	<p>成人期の余暇活動支援については、障害者計画・第6期障害福祉計画においてもその充実が方向性として示されていますが、障害者福祉センターに限らず、活動場所、内容を含め、今後も広く検討していく必要があると考えます。</p> <p>貴重なご意見として、今後の検討の参考とすべきと考えます。</p>
2	機能・設備	<ul style="list-style-type: none"> 書かれていることすべて、その通りと思います。 特に団体支援をお願いしたいです。とても難しいと思いますが、建設計画と同時進行で検討を。 	
3	機能・設備	<p>[調理室]</p> <p>親同士の親睦を図るために利用させていただいております。また、知的障害者本人のための料理教室を希望します。(このことは安全面を考えると難しいかもしれませんが、本人が一人で暮らす場合には必要になるのでは、と思います。)</p> <p>[印刷室]</p> <p>これまでも、お知らせ(会員向けの)、会報(年2回)など、その都度ありがたく使わせていただきました。これからも同じように使わせていただけるよう希望します。</p>	<p>活動のための設備の設置、地域に開かれた施設であることが重要であることなどについては、委員会でも議論がありました。いただいたご意見を参考に、今後の検討を進めるべきと考えます。</p> <p>また、団体支援はこれからも必要です。具体的な支援内容については、引き続き市と協議を進める必要があると考えます。</p>
4	機能・設備	<p>障害者団体へロッカー、引き出しなどの貸し出しをお願いします。山彦の会も、団体事務所がないため、福祉センターのロッカー、引き出しを長年にわたって利用させていただきました。引き続き利用させていただきようようお願い申し上げます。</p>	
5	機能・設備	<p>誰でもが自由に立ち寄れるスペースをセンター内に作っていただくようお願い申し上げます。そしてそこに知的障害者向けの書籍を含む図書を置いていただければと思います。</p>	

NO	項目	意見	検討委員会取扱方針
6	機能 ・ 設備	<p>視覚障害者福祉協会の事務室がほしい</p> <p>視覚障害者のニーズが多岐にわたっており、事務作業が年々増加している。</p> <p>相談、生活訓練などを実施すると共に、在宅生活を維持、向上させるために必要な情報提供、補装具、日常生活用具の紹介、使い方などを円滑に進めるために物品管理などが求められている。</p>	<p>活動のための設備の設置、地域に開かれた施設であることが重要であることなどについては、委員会でも議論がありました。いただいたご意見を参考に、今後の検討を進めると考えます。</p> <p>また、団体支援はこれからも必要です。具体的な支援内容については、引き続き市と協議を進める必要があると考えます。</p>
7	機能 ・ 設備	<p>現在、高齢者対象に福祉マッサージを提供しているが、いまでもふとんを敷いて施術している。衛生面でもベッドを設置し、常時マッサージ施術ができるような部屋を確保してもらいたい。</p>	
8	機能 ・ 設備	<p>障害者福祉センターの団体利用として会議室等を確保してほしい。</p>	
9	機能 ・ 設備	<p>復職や復学を希望する方などへの支援として、ピアサポート機能の充実を図ってほしい。</p>	
10	・建物 ・場所 ・駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の建物は建設当時としては斬新なものだったと思うが、制度の変更などがある中で無理を重ねて現在まで使用してきていると思う。建て替えて、これからの時代に合った建物にするのがよいと思う。 ・設計にあたっては、おしゃれなものとか考えずに、骨組みはしっかりと、構造はシンプルに、仕切り等変更可能なものを希望する。 ・当事者の意見をしっかりと取り入れて、使い勝手のよいものにしてほしい。 ・交通の便については、一般の路線バスの停留所の設置、ムーバスの誘致など、地域全体・武蔵野市全体の視点で考える。(けやきコミセン設立に当たっては、はじめは本当に交通の便の悪いところだったが、大勢の人が集まるように考え、人の流れを変えて、今では地域の中心になっている。) ・八幡町・緑町地域との連携を考えて、企画段階から一緒に考えていくように。地域の人も立ち寄りやすい構造にしてほしい。千川地域福祉の会・親の家・八幡町コミセン・武蔵野北高校・千川小学校など、協力者として大切です。・市民社協・ボラセン(分室でも)を入れて、一緒に活動できるような構造に。 ・受付の方々の親切的な対応は貴重。継続されることを希望します。 	<p>頂いたご意見にある内容については、委員会でも議論をいたしました。</p> <p>・新たな建物にする場合は、これからの時代に合った、かつ、時代のニーズの変化にも対応しうる建物であるべきと考えます。</p> <p>・地域のご理解をいただきながら、地域の方もご利用いただけるような開かれた施設であるべきと考えます。</p> <p>・機能については、いただいたご意見を参考に、今後の検討を進めると考えます。</p>
11	場所 ・駐車場	<p>現在の場所での建て替えなら、駐車場を広くしてほしいです(個人の車も駐車できるように)</p>	<p>地域に根付いた施設であることが大切であることについては委員会でも議論いたしました。現在の場所で改修又は建替えをするのが望ましいと考えます。</p> <p>駐車場については、現在は送迎専用のスペースしかありません。建替えをする場合は、利用者用の駐車スペースも確保すべきと考えます。そのために、旧なごみの家の敷地も一体として検討すべきと考えます。</p>
12	場所 ・駐車場	<p>新しく土地をさがすのであれば、交通の便を考えて、近くにバスの停留所があるところが望ましいです。</p>	
13	場所 ・駐車場	<p>現在の場所での建て替えと考えると、バスなどの交通機関の改善を要望したい。</p>	

NO	項目	意見	検討委員会取扱方針
14	その他	<p>ボランティアつくしんぼの会は1990年に活動開始。きっかけの一つは千川作業所（当時）のバザーを四中PTAとして手伝ったことでした。千川作業所の会議のために福祉センターに出入りすることも多く、また、ボランティアセンターの運営委員会や行事などでセンターの団体の方と一緒に行動することもありました。障害者総合センターができる前で、文化祭その他の行事もありました。その後千川作業所はチャレンジャーなど次々と発展し、障害者総合センターは「福祉展」を引き継いで「あったかまつり」につなげるなど、活動の中心は福祉センターから移行していった気がします。福祉センターの中にあつた作業所は、制度の変更でなくなり、団体として活動していた方々も、送迎の車がなくなる、高齢者施設への移行が難しいなどで、活動が続けられなくなったと聞いていました。当時“知的障害者への支援が欠けている”、ということだったので、ある時、身体障害者の団体の方が“知的に越された”と発言されていました。身体障害の団体の方は遠慮深くおとなしい。知的の方は本人が言えないからと、家族や周りの人たちが発言する。そんなことで差がついていると思います。</p> <p>「多様性」が尊重される時代、だれもが充実した人生を送れるよう、福祉センターとして広報を充実して発信してほしいと思います。</p>	<p>障害者福祉センターの沿革を、中間のまとめに記載していますが、今までの経過も踏まえて今後の障害者福祉センターのあり方を検討しました。</p> <p>広報については充実すべきと考えます。</p>